

市民ふれあい学級

# 防災教室～救命講座～

6月29日(水)防災教室を行い、呼吸や心臓が止まった人の命をつなぐ応急処置の仕方を学びました。

肩をたたきながら声をかけ反応を確認し、周囲に協力を求め救急車が来るまでの時間、心肺蘇生のための胸骨の圧迫、胸の厚さの1/3が沈むほど強く圧迫する。胸骨の圧迫をしながら、AEDの手配ができたなら心臓を通るようにセットしアナウンス通りに操作する。

この近辺はおおむね7分程度で救急車の到着が見込めるが、この時間に周囲の皆で協力し合うことが大切である。この時期人工呼吸はしなくてよいとのこと。

受講された皆さんは講師の話に熱心に聞き入り、協力し合ってそれぞれが分担して体験しました。

